

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1 20点	(1)	①	知識			3	5
	(2)	②	処理	○小数点の位置を間違えている。	2	2.5	5
	(3)	③	知識	○ $\frac{6}{9}$ 約分ができていない。	3	$\frac{2}{9} + \frac{4}{9} = \frac{6}{9} = \frac{2}{3}$	5
	(4)	④	処理	○7と3の公倍数21などを分母にしている。 ○通分ができていない。 ○分母が21の倍数（42など）のとき約分ができていない。 $\frac{2}{42}$ など	1 2 3	$\frac{15}{21} - \frac{14}{21} = \frac{1}{21}$	5
2 15点	(1)	⑤	知識	○正しい答えを1～4つ書いている。	1	1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 24 (8つ)	5
				○正しい答えを5つ書いている。	2		
				○正しい答えを6つ書いている。	3		
				○正しい答えを7つ書いている。	4		
	(2)	⑥	知識			180°	5
	(3)	⑦	処理	○直径×3.14の式を書いている。	2	$4 \times 3.14 = 12.56$ $6 \times 3.14 = 18.84$ $12.56 + 18.84 = 31.4$ 答え 31.4 cm	5
				○直径×3.14の式を書いて、一方の円周の長さを正しく求めている。	3		
				○直径×3.14の式を書いて、2つの円周の長さを正しく求めている。	4		
	(3)	⑦	処理	○直径×3.14の式を書いて、2つの円周の長さを正しく求めている。	4		
3 5点		⑧	関心	○2つの帯グラフを比較しないで書いている。 (例) 昔は、お米をいちばん多く食べていた。	1	○2つの帯グラフについて、割合の数字を使って、分かったことや気づいたことを書いている。 (例) 米の割合は、昔は48%だったが、今は23%で、およそ半分ぐらいに減っていることが分かります。 (例) 肉類の割合は、昔は4%で、今は15%と増えています。だから、今は昔より約4倍肉類を食べていることが分かります。 (例) 魚類の割合は、昔は4%で、今は5%になっています。だから、昔も今もあまり変わらないことが分かります。 <採点の基準> ①2つのグラフを比較していること。 ②割合の数値を正確に読み取っていること。 ③読み取った数値を根拠に、自分なりに気づき、分かったことを書いていること。	5
				○2つの帯グラフを比較しているが、割合を表す数字を使っていない。 (例) 昔は、お米をいちばん多く食べていた。今もいちばん多く食べている。 (例) 今は、昔とくらべるとお米を食べる割合が少なくなっている。	2		
				○2つの帯グラフを比較しており、一方の帯グラフについては数値を示している。 (例) 米の割合は、昔は48%だったが、今は少なくなっている。 ※数値の読み取りのまちがいは－1点とする。	3		
				○2つの帯グラフを比較しており、それぞれの帯グラフの割合を表す数字も使っている。 (例) 米の割合は、昔は48%だったが、今は23%です。	4		
4 10点	(1)	⑨	考え	○答えのみ正解	2	(例1) $1 - \frac{2}{5} = \frac{3}{5}$ $\frac{3}{5} = \frac{6}{10}$ だから 答え あと6ぱいで1ℓになる。 (例2) 今、5分の2ℓ入っているの、残りは5分の3ℓである。 5分の3ℓは10分の6ℓと等しいので、あと10分の1ℓます6ぱいで、1ℓになる。 答え 6ぱい (例3) 図で考えを示し、正解している。	5
				○答えが正解で $\frac{2}{5} = \frac{4}{10}$ または $\frac{3}{5} = \frac{6}{10}$ が書いてある。(説明不十分)	3		
				○答えが不正解でも、分母を10にそろえて考えている。	2		
	(2)	⑩	考え	○約数、倍数の関係にあるますを使って	2	(例) ①㊦ (3分の1ℓ)のます1はいと㊦ (6分の1ℓ)のます1はい。 ②㊦ (4分の1ℓ)のます1はいと㊦ (8分の1ℓ)のます2はい。 ③㊦ (5分の1ℓ)のます1はいと㊦ (10分の1ℓ)のます3はい。 ④㊦ (5分の1ℓ)のます2はいと㊦ (10分の1ℓ)のます1はい。	5

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
5 20 点	(1)	⑪	処理	○式または、答えの一方を正しく書いている。	3	$32 \div 0.5 = 64$ 答え $64 m^2$	5
	(2)	⑫	考え	○説明は不十分であるが、 $1 m^2$ あたり $\triangle kg$ という言葉を入れて説明しよう としている。	3	○ $1 m^2$ あたりの収穫量を比べて、みほ さんの言葉を書いている。 (例) 1組は、 $1 m^2$ あたり $0.5 kg$ で、わたしたちは、 $1 m^2$ あたり $0.6 kg$ のお米がとれたのだから、 2組の方がよく育っていると言える よ。	5
				○説明は不十分であるが、 $1 kg$ あたりの 面積で考えようとしている。	3		
				○説明は不十分であるが、 64 と 48 の 公約数(公倍数)で面積をそろえて比 較しようとしている。	3		
	(3)	⑬	処理	○求め方の式または答えの一方を正しく 書いている。	3	(例) $(95 + 84 + 106 + 75 + 90) \div 5 = 90$ 答え 90 つぶ (例) $95 + 84 + 106 + 75 + 90 = 450$ $450 \div 5 = 90$ 答え 90 つぶ	5
	(4)	⑭	処理	○式のみ正しく書いている。	3	$2700 \div 90$ およそ稲穂 30本分	5
				○ $2700 \div 90$ の 90 は(3)の問題の答 えを用いるので、 90 の値がちがって いるが、 式を書いている。 3点 式を書いている、式に合った答えを 書いている。 4点	3 4		
6 10 点	(1)	⑮	処理	○式または答えの一方を正しく書いている。	3	(例) $4 \times 5 \div 2 = 10$ 答え $10 cm^2$	5
	(2)	⑯	考え	○選んだ式と説明またはかき加えた直線 のどちらかが対応している。 <div><div>ア</div><div>イ</div><div>ウ</div><div>エ</div></div>	3	○選んだ式に合った説明を書いており、 その説明に対応した直線をかき込んで いる。 (例) アの場合 まず、四角形を平行四辺形と三角形 に分けて考えました。平行四辺形の面 積は、 5×6 で $30 cm^2$ 、三角形の 面積は、 $3 \times 6 \div 2$ で $9 cm^2$ 。 それらをたすと、答えは、 $39 cm^2$ になります。 (例) イの場合 まず、四角形を三角形2つに分けて 考えました。上の三角形の面積は、 5 $\times 6 \div 2$ で $15 cm^2$ 、下の三角形の 面積は、 $8 \times 6 \div 2$ で $24 cm^2$ 。 それらをたすと、答えは、 $39 cm^2$ になります。 (例) ウの場合 まず、四角形を三角形2つと長方形 に分けて考えました。長方形の面積は、 5×6 で $30 cm^2$ 、左の三角形の面 積は、 $1 \times 6 \div 2$ で $3 cm^2$ 、右の三角 形の面積は、 $2 \times 6 \div 2$ で $6 cm^2$ 。 それらをたすと、答えは、 $39 cm^2$ になります。 (例) エの場合 四角形をふくむ長方形を考えました。 長方形の面積は、 8×6 で $48 cm^2$ 、 左の三角形の面積は、 $1 \times 6 \div 2$ で 3 cm^2 、右の三角形の面積は、 $2 \times 6 \div$ 2 で $6 cm^2$ 。 長方形の面積から、2つの三角形の 面積の和をひくと $48 - (3 + 6)$ で、 答えは、 $39 cm^2$ になります。	5

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
[7]		⑰	考え	○答えのみの正解 ----- ○答えが不正解のとき ・4の倍数と6の倍数が書いてある。 ・公倍数12, 24, 36, 48・・・が書いてある。または、4と6の倍数の数列の公倍数に印がついている。 ・右欄の1～3行目のような内容（根拠や理由）が書かれている。 ----- ○説明が不十分で、答えが正解のとき ・4の倍数と6の倍数（数字のみ）が書いてある。 ・公倍数12, 24, 36, 48・・・(数字のみ)が書いてある。または、4と6の倍数の数列に、12の公倍数に印がついている。 ・右の欄の1～3行目のような内容が書かれている。	2 1 2 3 3 4 4	○4人の班でも、6人の班でもちょうど分けられるから、クラスの人数は4と6の公倍数である等と書いている。 (例1) 4と6の公倍数は12, 24, 36, 48, …となる。 また、クラスの人数は30人と40人の間だから答えは <u>36人</u> (例2) 4の倍数 4, 8, <u>12</u> , 16, 20, <u>24</u> , 28, <u>36</u> , … 6の倍数 6, <u>12</u> , 18, <u>24</u> , 30, <u>36</u> , 42, … また、クラスの人数は30人と40人の間だから答えは <u>36人</u>	5
[8]		⑱	関心	○答えを書いている。 ----- ○不十分であるが、問題文を書いている。 ----- ○不十分であるが計算を書いている。 ----- ○問題文ができている。 ----- ○計算と答えが出来ている。 ----- ○問題文と計算はできているが、答えを間違えている。 ----- ○問題文と計算、答えはできているが、「およそ」を使っていない。	1 2 2 3 3 4 4	○みほさんが調べた結果をもとに、商を見積もる問題をつくり、概数を使った計算で答えを求めている。 (例) みほさんの家庭で1日に使った水の量は <u>およそ何ℓ</u> でしたか。 $30000 \div 30 = 1000$ <u>およそ1000ℓ</u> (例) みほさんの家庭では、10月は <u>およそ何分間水道の水を出していましたか</u> 。 $30000 \div 10 = 3000$ <u>およそ3000分</u>	5
[9]	(1)	⑲	処理	○正しい答えを書いている。 ----- ○(道のり)÷(時間)の式を書いている。 (例) $1.2 \div 8$ $1200 \div 8$	2 3	(例1) $1.2 \div 8 = 0.15$ $0.15 \text{ km} = 150 \text{ m}$ (例2) $1200 \div 8 = 150$ <u>答え 分速150 m</u>	5
	(2)	⑳	考え	○図書館から友だちの家までにかかる時間を求めている。 (例) $2.1 \div 150$ $2100 \div 150$ ※150の代わりに(1)で答えた値を使っていても可。 ----- ○たけしさんの家から友だちの家まで自転車で行く時間を求めている。 22分間 ----- ○図書館の30分を抜いて、出発時刻を求めている。 <u>答え 午後 1時38分</u>	2 3 4	(例) $2100 \div 150 = 14$ $8 + 30 + 14 = 52$ (分) $60 - 52 = 8$ (分) または「午後2時の52分前だから1時8分」 <u>答え 午後 1時8分</u>	5